



国内市場の成熟化、ビジネスの急速なグローバル化を背景に、「これまでにない何か」を形にして事業を創り出すことが求められています。起業家にとって、社会の課題を発見し、新しい技術やアイデアなどを用いて解決する方法を見出せば、大きな事業機会の獲得につながります。また多くの企業にとって、自社だけでなく大学など外部の技術やアイデアを組み合わせる素早くビジネスとして市場に展開する能力は重要なテーマです。本コースは、京都大学の知・研究成果の事業化をテーマに、社会の課題を実際の京都大学の知・研究成果を用いて解決する事業創出のプロセスを進め、最終的に事業プランを作成・提案していただきます。私達は、新しいものは、異質な価値観を持つ人との議論の中から生まれると考えます。今後、ビジネスリーダーとして新規事業の立ちあげに関わる方だけでなく、すべての事業推進に関わる方にとって役に立つ経験になると思いますので、ぜひ、ご参加ください。

本コースは、京都大学と京都大学100%出資のVC子会社である京都大学イノベーションキャピタル株式会社による京都大学の知・研究成果の事業化を推進・支援するプログラムの一部を構成しています。

- 対象領域
  - 農業、食品ビジネス(機能性食品)
  - ヘルスケア
  - 医療関連
  - 新規素材
  - 環境・グリーンテック・エネルギー
- 活動テーマ
  - 京都大学の知・文化・研究成果(シーズ)を題材に、最先端技術に基づくリアルな事業化検討のトレーニングと実践を行います。
  - 各グループの提案は、ベンチャーキャピタリストに提案/実際に投資判断をしていただきます。
- 対象者
  - 企業内で新規事業の事業推進担当およびその候補(イントラプレナー)
  - 起業を検討している者(アントレプレナー)
 書類選考・面接による選抜を行います。

## 2019年度秋期スケジュール

全7回	日時	会場*	プログラム**
第1回	10月19日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Introduction ■ ビジョン思考 ■ Team Up
第2回	11月2日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ 意味の書き換え
第3回 (土日2日間)	11月16日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ アイデアエーション(課題×シーズ) ■ シーズ探索
	11月17日(日) 9:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Team Building
第4回	11月30日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Prototyping講義 ■ Rapid Prototyping実習
第5回	12月14日(土) 13:00-17:00	京都経済センター3階 オープンイノベーションカフェ「KOIN」	■ Lean Canvas講義 ■ チーム作業 メンタリング
第6回	1月11日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ プレゼンテーション ■ メンタリング
第7回	1月25日(土) 13:00-17:00	京都大学国際科学イノベーション棟	■ Demo Day

\*宿泊費等は自己負担です。 \*\*プログラム内容は状況により変更となる可能性があります。

募集人数	25名(最少催行人数 16名)	申込フォーム	<a href="https://forms.gle/qZUjDbqQTsoPCiYi8">https://forms.gle/qZUjDbqQTsoPCiYi8</a>
提出書類	作文(申込フォーム参照) ※面接、履歴書をお願いする場合があります	申込締切	2019年 10月1日(火) 17時
参加費用	25万円(教材費含む・消費税別)、京都大学関係者・学生無料	発表	10月4日(金)までに合格者のみ通知予定



本研修プログラムは文部科学省「グローバルアントレプレナー育成促進事業(EDGEプログラム)」で得られた知見・ノウハウを活用して企画・運用されています。EDGEプログラムについては、以下URLをご参照ください。  
<http://edgeprogram.jp/>

11月17日以降の回は、京都大学大学院共通教育科目と合同で実施します。

本研修において製作されたプレゼン資料その他の成果物の著作権その他一切の知的財産権は、主催者の意向に従います。また参加企業及び受講生は成果物に関する著作権者人格権を行使しないものとします。



京都大学産官学連携本部  
イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門  
venture@saci.kyoto-u.ac.jp (お問い合わせ先)

若手事業推進者のための

# 技術イノベーション 事業化コース 実践ワークショップ

Open Technology  
Innovation Course

共催：京都大学産官学連携本部  
(イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門、出資事業支援部門)  
京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
協力：一般社団法人 京都知恵産業創造の森

### 1 顧客ニーズの検証

社会の様々なテーマに対し京都大学が所有するリアルな技術シーズを活用することで事業機会を創出する。『事業化』という視点から顧客インタビュー・プロトタイプによる仮説検証を繰り返し、顧客ニーズに合致した製品・サービスを特定する。iCORP(※注)をベンチマークとしつつ、社会人、理系の院生・ポスドク等の人材、ビジネススクールの学生等を組み合わせたチームを組成し、テクノロジ・ベンチャーのビジョン創出、ビジネスモデルの仮説構築と実証、顧客開発およびプロトタイプ、パートナーリング・資金調達までの起業プロセスを包括的に体験するプログラムを提供しています。整った書類としてのビジネスプランの作成ではなく、顧客ニーズと提供価値に関する仮説を構築し、外部のパートナー企業や顧客との頻繁なインタラクションを通じて進化させていく、「顧客ニーズの検証」のプロセスを最重視します。

(※注) 助成する核心技术を米国経済に貢献させるための米国NSF (National Science Foundation) の技術商業化プログラムで、Steve Blank氏による「顧客開発モデル」とその実践プログラム (LeanLaunchPad) をベースにしている

ビジョン思考	ビジネス仮説	仮説検証	事業化
> 未来年表 > TurningPoint分析 ・ビジョン思考 ・意味の書き換え	> Ideation > EnablingTechnology探索 ・ビジネスの構想 (発散) ・ビジネスを可能にするシーズの探索	> Prototyping > LeanCanvas ・ユーザー視点での検証 ・ビデオ作製等プロトタイプおよびリーンキャンパス活用	> DemoDay ・リアルかつシビアなビジネス化の追求 ・実際の事業化に向けたフォロー開始

### 2 実践的な手法

専門家のファシリテーションにより、リーン・ローンチパッド、デザインシンキング等の手法を体得し、技術を実際に事業として展開するまでのプロセスを学ぶ。

IMPACT

×

FEASIBILITY

- 1 未来年表
- 2 トレンド分析
- 3 アイディエーション
- 4 テクノロジー探索・マッチング
- 5 ビデオプロトタイプ
- 6 リーンキャンパス
- 7 デモでのエコシステムへのプラグイン

大胆さと実現性可能性の両立

### 3 経験豊富な講師陣・メンター

他社の人材、コンサルタント、専門分野の研究者、技術者、ベンチャーキャピタル、経営者、マーケッターとのディスカッションを通じて、社内では得られない知的刺激や異質な発想・価値観に触れる。

### 4 シビアな事業性の追求

最終発表会では、実際に投資家/事業会社の新規事業責任者に向けてプレゼンテーションを実施。『事業性』を厳しく評価する目を養う。

### 5 フォローアップ - インキュベーション

有望な取り組みにはコース終了後もメンタリング、京都大学の提供するファンドやインキュベーション施設の使用によりサポートを継続。

### 6 フォローアップ - VCからの出資

本コースは、京都大学イノベーションキャピタル株式会社の京都大学の知・研究成果の事業化の取り組みに接続されており、有望な事業プランは、同社のファンドからの投資などの支援のもと、コース終了後も実現を推進可能。

**木谷 哲夫 講師** きたに てつお  
 京都大学産官学連携本部IMS寄附研究部門教授  
 東京大学法学部卒、シカゴ大学政治学博士前期課程修了(MA)、ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA。日本興業銀行、メリル・リンチ(NY)、マッキンゼー、アリックス・パートナーズを経て現職。マッキンゼーでは、アソシエートプリンシパルを務め、金融機関・自動車・機械・ハイテク産業での新規事業戦略の立案・オペレーション改善に従事した。研究領域は企業戦略、ベンチャーファイナンス、リーダーシップ論。九州大学大学院客員教授、龍谷大学経済学部客員教授。大阪市特別参与、大阪府特別参与など歴任。著書に「成功はすべてコンセプトから始まる」(ダイヤモンド社)、「独裁力」(ディスカバー21)など。

**古我 知史 講師** こが さとし  
 ベンチャーキャピタリスト、株式会社チームクールジャパン 代表取締役  
 京都大学産官学連携本部 産官学連携フェロー、龍大経済学部客員教授。早大政経卒。モンサント、シティバンク、マッキンゼー&カンパニーを経て、ウィルキャピタルマネジメント株式会社、株式会社チームクールジャパンを創業、代表取締役。独立系キャピタリストとして累計60社を超えるスタートアップからバイアウトまでの投資と事業開発の現場に参画してきた。アニコムホールディングス(株)、㈱フオリオリ・ジャパン、㈱卑弥呼、イオンペット(株)、㈱ノンストレス、㈱Too、㈱セルム等の独立取締役、また、社団法人放送協会理事、大阪府市統合本部特別参与、九大大学院客員教授などを歴任。著書に、「着眼の技法」、「もう終わっている会社」(ディスカバー21)、「戦略の断層」(英治出版)など。

**五ノ坪 良輔 メンター** ここのつばりょうすけ  
 京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
 プリンシパル  
 商社の投資・事業開発部隊で国内事業投資、M&A、ベンチャー投資を支援。ビジネススキーム構築、事業計画策定等、新規事業立上の総合的支援を行う。自らも電気自動車充電サービスやスマホアプリ等の事業を立ち上げる。京都大学法学部卒。カーネギーメロン大学MBA。

**浅野 禎彦 メンター** あさの ただひこ  
 公認会計士、浅野公認会計士事務所 代表  
 KPMGあずさ監査法人パートナーを経て独立、ベンチャー育成、コンサルティングに従事。関西ベンチャー学会 副会長

**田村 大 講師** たむら ひろし  
 株式会社 リ・パブリック共同代表、東京大学i.school共同創設者エグゼクティブ・フェロー  
 東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。人類的視点から新たなビジネス機会を導く「ビジネス・エスノグラフィ」のバイオニアとして知られ、現在は、地域や組織が自立的にイノベーションを起こすための環境及びプロセス設計の研究・実践に軸足を置く。著書「東大式世界を変えるイノベーションのつくりかた」(早川書房)など。情報処理学会学会誌編集委員、International Journal on Multi-disciplinary Approaches to Innovation編集委員等。

**岡橋 毅 講師** おかはし たけし  
 株式会社リ・パブリック  
 シニア・ディレクター  
 国際基督教大学教養学部卒。北海道大学の科学コミュニケーション教育プロジェクトにて、サイエンスカフェ札幌やラジオ番組制作、映像演習等を担当。その後、埼玉のまちづくり会社での地域メディア活用支援や社会起業支援の仕事を経て、2013年にデンマークのデザインスクール(CIID)で学ぶ。2014年より現職。デザインリサーチやサービスデザイン、ストーリーテリングなどの参加的、共創的な手法を得意とする。

**平川 敦士 メンター** ひらかわ あつし  
 日本ベンチャーキャピタル株式会社 顧問  
 監査法人、外資系戦略コンサルティングファームを経てベンチャーキャピタルへ転身。これまで、財務戦略やM&Aを中心に多数の大手企業に対するコンサルティングに従事。現在は、ベンチャーキャピタリストとして新サービスを中心に育成・支援に主眼を置いた投資スタイルで活躍。大手、ベンチャー問わずM&Aについての知識、経験、実績が豊富であり、シリコンバレー、アジアのネットワークも多数もつ。税理士資格保有。

※講師・メンターは状況により一部変更の可能性があります。

これまでの参加企業・大学

- 株式会社 産業革新機構
- NKmedico
- 株式会社 サイバーエージェント
- KPMG コンサルティング株式会社
- 野村證券株式会社
- 株式会社 プライセン
- 株式会社 NTT ドコモ
- 住友電気工業株式会社
- 株式会社 ウシオ電機株式会社
- 大阪大学大学院
- 早稲田大学
- 任天堂株式会社
- 京都薬科大学
- 関西巻取箔工業株式会社
- 三菱重工業株式会社

Open Technology Innovation Course

- 名古屋商科大学大学院
- 同志社大学
- ソーバル株式会社
- 大和ハウスパーク株式会社
- 三菱リサーチ & コンサルティング株式会社
- 太陽グリーンエナジー株式会社
- 日立建機株式会社
- 有限責任 あずさ監査法人
- 野村ホールディングス株式会社
- 株式会社 東芝
- 京都リサーチパーク株式会社
- 日新イオン機器株式会社
- 京都情報大学院大学
- 旭化成ファーマ株式会社
- 立命館アジア太平洋大学 株式会社
- SCREEN ホールディングス
- 株式会社 日立製作所
- 株式会社 日立システムズ
- 東京大学大学院
- 慶應義塾大学
- 京都大学大学院
- 有限責任監査法人 トーマツ
- 京都産業大学
- 中央大学
- 東日本電信電話株式会社
- 太陽ホールディングス株式会社
- 千葉大学
- 滋賀医科大学
- 東京工業大学
- サヴァナコンサルティング株式会社
- 株式会社 日新

(順不同)